秀明改

編　集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教から守ろう
fujiyahoko@excite.co.jp

リセット

秀明会ＯＢが作っている秀明信者のためのページもご覧下さい

秀明紙第267号に掲載された
ゴールドの奇瑞

秀明紙 第267号 平成4年6月10日発行 にも掲載

ゴールドの奇瑞（きずい）

平成３年頃から全国の秀明施設では「ゴールドの奇瑞」と呼ばれる奇跡が相次いだ。

発見された「奇跡のゴールド」は秀明会本部で展示会まで開催され、その様子が秀明会の公式機関誌である秀明紙にも掲載された。

いわば、この奇跡はこの宗教法人が公式認定した奇跡であった訳だ。秀明紙第３６１号には、この宗教法人のトップである会主・小山美秀子自身がゴールドの奇瑞を体験したときの様子が掲載されている。

当時はまだインターネットが全く普及しておらず、秀明会が秀明紙で発表した「ゴールドの奇瑞」は誰も疑義を唱えることなく、一方的情報となって秀明会信者に浸透していった。

それから十三年の歳月が流れ、インターネットは広く普及し、情報発信は手軽に行える時代となっていた。

一人の元秀明信者からゴールドの奇瑞を伝えた当時の秀明紙がインターネットを通じて私の所に送られてきた。

エーッ！
この奇跡、全部ウソだったの？

この件に関する詳細な内容が、
http://www.geocities.co.jp/Technopolis/9575/gold.html
に、「ゴールドの奇瑞」と題して掲載されています。

C社製
おみくじのオマケと同じ
一個五〇円程度

私は各地の神社を廻って、おみくじに添付された縁起物を買い求めてみた。縁起物付きのおみくじは比較的取り扱っている神社が少なく、なかなか入手は困難であったが、なんとか４社の製品、約二十数個の縁起物付きおみくじを買い求めることができた。

紙面の都合上、全てを紹介することはできないので、「米俵に乗った大黒天」について各社毎の違いを比較してみる。

秀明紙に掲載されたものをＡとして、Ｂ社、Ｃ社、Ｄ社のものと比較してみた。その結果、Ｃ社の大黒天は外形及び内部の彫刻など全てのラインが秀明紙に掲載された大黒天と一致しており、同一のものであることが確認できた。

このＣ社の縁起物は、大黒天以外の他の縁起物も秀明紙に掲載された「ゴールド」と全て一致することが確認できた。

一方、Ｂ社、Ｄ社、Ｅ社製の縁起物はどれ一つとして秀明紙に掲載されたものと合致するのものはなく、秀明で『出た』ゴールドは、Ｃ社製を中心とした限られた製品であることがわかる。

五十円にも満たないイミテーションを、秀明会トップは「明主様からのありがたい奇瑞」と位置づけ、本部で展示会を行い、秀明紙で信者に紹介していたのである。

これが宗教団体のやることか？